

豊岡に暮らすアーティスト松田さんと美藤さんによる

市立美術館「豊岡若手作家展」

▼本市出身・在住の若手作家による作品展。松田さんは古典和歌をイメージした日本画を、美藤さんは日常からのひらめきにより木彫を制作し、それぞれ注目されています。この機会に2人の作品をご覧ください。

▼会場 市立美術館「伊藤清永記念館」

2月11日(土)～28日(火)
まつだともこ
松田朋子さん(日本画家)



©Tomoko Matsuda

3月4日(土)～21日(火)
びとうけい
美藤圭さん(彫刻家)



©Kei Bito

▼開催時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

▼休館日 毎週水曜日、3月2日(木)・3日(金)・イ

▼入館料 一般500円、大

▼問合せ 市立美術館

電話 52-5456

【関連イベント】

<作家トーク&コンサート>



松田朋子さんのギャラリートークとフルート奏者・土出真梨子さんのコンサート

▷日時 2月26日(日)午後2時～
▷定員 40人 ▷参加料 入館料のみ

<作家トーク>



参加者との対話を交えた美藤圭さんのギャラリートーク

▷日時 3月19日(日)午後2時～
▷定員 20人
▷参加料 入館料のみ

※両イベントとも、参加を希望する方は1月30日(月)以降に、電話または市ホームページの申込フォームで市立美術館へ申し込んでください。



第15回
プラスチックとのつき合い方

21-9136

地球温暖化を防止するため、身近な環境問題と家庭でできるエコ活動を紹介します。

《問合せ》生活環境課地球温暖化防止対策室

「プラスチック」は、この70年、私たちの暮らしを劇的に便利に、衛生的にしてくれました。しかし、安く手軽な反面、簡単に丈夫に作れてしまうため、なかなか分解されません。街なかには捨てられ、目に見えなくなる程小さくなったプラスチック(マイクロプラスチック)は、水路や川をつたい、海まで流れつき魚や鳥等の動物が食べてしまうだけでなく、私たち人間も、水や空気中にもまで飛散したプラスチックを摂取してしまっています。最近の研究では、人の血液中からプラスチックが見つかり、体内から排出されず循環していることも分かりました。さらに、化石燃料から作られるプラスチックは、作る時、燃やす時、リサイクルする時、CO₂を排出しています。プラスチック由来のCO₂排出量は2012年時

点で3億9千万トンと言われており、プラスチックの生産が年々増えている現在では、CO₂の排出がさらに増加していると予測できます。環境や生態系に負荷をかけているプラスチックを、今から一気に減らすことは難しいことかもしれません。ですが、1人年間200本購入しているペットボトルや、容器や包装の使用をできるだけ控えたり、石油以外の素材や自然素材の商品を選んだり、適切な分別を行うなど、一つ一つの行動を積み上げていくことで、次世代や未来の地球環境を守る大きなアクションへとつながります。

無理のない範囲で構いません。自分のできる行動や工夫、選択を生活の中に取り入れてみましょう。



3月6日から

JR西日本からのお知らせ

JR江原駅に「みどりの券売機プラス」を導入します

利用は午前5時30分から午後11時まで

「みどりの券売機プラス」は、乗車券・特急券・定期券に加え専任のオペレーターを通して、ICOCAや割引証が必要な切符(ジパング割引・学生割引等)を購入できるほか、切符の変更や払い戻しの取り扱いもできます。また、午前5時30分から午後11時まで利用でき、仕事帰りなど都合にあわせて利用できます。

購入方法などをオペレーターが案内

「みどりの券売機プラス」で切符を購入する際は、自身で操作するほか、専任のオペレーターが案内しますので、初めて操作する場合でも安心して利用できます。利用方法等、詳しくは「みどりの券売機プラス」で検索してください。

なお「みどりの券売機プラス」導入に伴い、江原駅の「みどりの窓口」の営業を3月5日(日)で終了します。《問合せ》都市整備課☎23-1712



画面の呼び出しボタンを押すと、オペレーターにつながります。オペレーターと会話しながら、切符の購入ができます。

ジパング
割引

学生割引

トクトク
キップ

定期券

乗車変更

払い戻し

JR竹野駅切符販売窓口の営業時間を変更

3月18日(土)から、JR竹野駅の切符販売窓口の営業時間を変更します。

切符販売窓口の営業時間は午前6時30分から午後3時30分までです。

《問合せ》都市整備課☎23-1712または竹野振興局地域振興課☎47-1111

▶衣類など可燃物の接触に注意
写真提供…製品評価技術基盤機構



ストーブの火災事例
▽電気ストーブをつけたまま就寝したところ、布団がス

寒い冬の時期に欠かせない暖房器具、なかでも電気ストーブや石油ストーブは手軽に部屋を暖められるため、使用している方も多いのではないのでしょうか。しかし、使い方を誤ると火災の原因となります。そこで、ストーブ火災事例と対策を紹介します。

ス
トープの火災に
注意しましょう

トープに接触し出火した。
▽石油ストーブの上に干していた洗濯物がストーブに落下し出火した。
▽給油の際、石油ストーブを消火せず、また、給油タンクのふたが確実に閉まっていなかったため、灯油がこぼれ引火した。

火災を防ぐポイント

▽ストーブは、可燃物の近くでは使用しない。特に衣類などを乾かさない。
▽寝るときやその場を離れるときは、ストーブを消す。
▽給油する時は必ず消火し、カートリッジタンクのふたは確実に閉める。
▽誤給油を防ぐため、灯油とガソリンは専用容器に入れ、別々の場所に保管する。

《問合せ》豊岡消防署
☎24-8039